



発行所 愛媛県今治市大三島町宮浦
日本総鎮守 〒794-1393

大山祇神社社務所

電話 (0897)82-0032

FAX (0897)82-0019

<https://oomishimagu.jp/>

大三島海事博物館
大三島大社講



石畳が敷かれた参道

大三島大社講のご案内

大山祇神社は古くからこの大三島に鎮座し、日本総鎮守、伊豫國一宮と尊崇されてきた四国第一の古大社でございます。御祭神は大山積大神、またの名を和多志大神と申し、山岳を守護される神様であるだけでなく、五穀成就、海上安全、漁業満足、長命開運、造酒の守護神としても、広く知られております。古来、皇室を始め一般国民に至るまで崇敬が篤く、「大三島詣で」として知られ、遠近より参拝するものが絶えませんでした。そして崇敬者に満足を与え、便宜を図るため、昭和二年（一九二七）に当時の国幣大社大山祇神社の崇敬者団体として、大三島大社講は設立されました。皆様のご入講をお待ちしております。

【この講社の趣旨】

大三島大社講は大山祇神社の崇敬者を結集し、敬神崇祖の信念に基づき、至誠以て道義を高揚し神恩に奉謝し普く神人和力文明造化の真理を顕現し、大山祇神社の維持を図り次の事業を行う。

【この講社の主な事業】

- 大山祇神社の神徳昂揚
- 大山祇神社国宝重要文化財その他宝物保存修理

- 大山祇神社祭礼神事の保存
- 図書、雑誌の編集発行
- 講演会の開催
- 講社員募集並びに伝道
- その他本講社目的達成のために必要な事業

【入講後の主な待遇】

- 家内安全家業繁栄祈願祭斎行の上、大麻を奉送する。
- 講社大祭並びに毎月一日祭に講社員名簿を奉奠して家内安全家業繁栄の祈願祭を斎行する。

- 大山祇神社宝物館拝観優待券贈呈。
- 大三島海事博物館拝観優待券贈呈。
- 社報「大三島宮」を贈呈。
- 大三島暦を贈呈。

- 大山祇神社例大祭・講社大祭他の御案内

【ご入講の手続き】

- 名誉講社員 毎年 五十口以上
 - 特別講社員 毎年 五十口以上
 - 正 講社員 毎年 一口以上
- 但し、一口 金三千元也
- 入講に關しましては、当社までお問い合わせください。

〒七九四-1139 三
愛媛県今治市大三島町宮浦三三二七
大山祇神社内 大 三 島 大 社 講
TEL ○八九七-八二-〇〇三二



宝物館優待券



大三島暦

大三島大社講について、こちらよりご意見等お寄せください。入講の有無にかかわらず、どなたでもご回答いただけます。



産須奈大祭（秋祭）

十月八日

十月八日、当社の産須奈大祭（秋祭）が盛大に執り行われた。

この秋祭は、国土安泰・五穀豊穰感謝・海上安全・民族の繁栄・農水産物の増産等を祈念するもので、氏子崇敬者、地域住民・島民らが参集し盛大に行われる。

神輿渡御、供奉行列、獅子連中による獅子舞奉仕も四年ぶりに行われ、島内は大変賑わった。

八日の大祭当日に至るまで、獅子連中の奉仕者たちは毎日夜遅くまで練習を重ね、地区内には毎晩太鼓や笛の音が響いていた。そして、大祭前日の七日午前四時三十分、【獅子宿門出祭】を行い、獅子らが練習拠点としていた宿元を発つ。次いで午前六時、当社にて【鎮疫宮出祭】を斎行。大神様の御霊を拝戴し、二日間に亘って、当社が鎮座する宮浦地区の氏子の家々を練り歩き、獅子舞を奉納した。また、大祭当日は当社から三基の神輿を始め、多数の供奉奉仕者を伴い台地区の三島神社への御旅、約六キロを練り歩いた。八日夜には冷たい雨が降っていたが、【鎮疫宮入祭】を行い、獅子連中の全ての行事を無事終えることができた。



宮浦獅子



出御



宮浦獅子



宮浦獅子



さかき
盛獅子



ののえ
野々江獅子



甘崎獅子



あまぎ
甘崎獅子



神輿渡御



抜穂神事



一人角力

十月二十三日（旧暦九月九日）抜穂祭を斎行。当日は秋の晴天に恵まれ、心地よい日差しの中、神事が行われた。
 三基の神輿が行列をなして斎田に向け出御、斎田では抜穂乙女らが【抜穂神事】を行った。春の御田植祭で早乙女らによって

植えられた早苗は、類を見ない今年の酷暑・残暑に晒された。一時は抜穂祭に間に合うかと懸念されたものの、祭典前には無事稲穂が実っていたことに安堵した。また、春の御田植祭と同様に【一人角力】が奉納され、来年の五穀豊穡が約束された。

刈り取られた初穂（品種 松山三井）は十一月二十三日の新嘗祭、二月十七日の祈年祭にも供えられ、酒造所に運ばれたお米は神酒造りの祭事に供え【神酒 白鷺】となる。

ぬきほさい
 抜穂祭

十月二十三日（旧暦九月九日）



編集後記



明けましておめでとうございます。

さて、令和六年は、新年早々予期せぬ幕開けとなりました。楽しかったはずの正月休みが一変。自由を奪われ、種々の悲劇や不条理な現実を目の当たりにされている方々の苦労は計り知れません。

様々な境遇を抱えながらも、前を向き続け、力強く困難を乗り越えていく、歩みを止めぬ皆様に、大神様の御加護がございませうこと、そして数多の辛抱が実り、上り龍の如く幸多き一年になりますことを心よりご祈念申し上げます。

次号では、当社に吹き込む春の便りをご紹介いたします。お楽しみに。(工藤)

宜しければ、ご意見、ご感想等をこちらよりお寄せください。



誕生祭のご案内

天照大神の孫、「瓊瓊杵尊」の皇妃として迎えられた「木花開耶姫」とその姉神「磐長姫」は当社御祭神「大山積大神」様の御子神であります。磐長姫命（撰社、阿奈波神社）は特に健康長寿の御神徳を備え古来より格別のご信仰があります。

この御神縁により大山祇神社では、崇敬者各位のお誕生日を神前に御奉告申し上げ、今日までの御神恩を報謝し、お誕生日を祝し長命富貴と益々の御活躍を祈念すべ



誕生守

く毎日祈願祭を斎行致しております。

御多忙の事とは存じますが、是非御参拝の上、神恩に感謝し益々の御多幸をお祈りくださいますよう御案内申し上げます。

尚、当日に限らずご遠方の方や事情により参拝の叶わぬ方は、お申込いただきましたら誕生祭を斎行の上、御守（誕生守）をお送り致します。御家族の誕生祭をまとめてお申込されても構いません。また、毎年の誕生祭案内をご希望される方には、ご自身の誕生日前に当社より案内をお送り致します。ご不明な点等ございましたら社務所までご連絡ください。

〈申込先〉

〒七九四-1-1三九三

愛媛県今治市大三島町宮浦三三二七

大山祇神社社務所

TEL ○八九七-八二一〇〇三二

電話対応時間…午前九時～午後四時

※住所等の変更、送付物の停止等に関しましては、ご一報いただけますと幸いです。

大三島宮祭事暦

令和六年三月～令和六年五月

三月	一日	一	皇	靈	殿	遙	拜	式	祭
	二十日	春	季	祖	靈	社	祭		
	二十二日	月	次	祭					
四月	一日	一	日	祭					
	二十二日	月	次	祭					
	二十九日	昭	和	祭					
	吉日	下	種	祭					
五月	一日	一	日	祭					
	二十二日	月	次	祭					
	自二十二日	宇	迦	神	社	祈	晴	祭	
	至二十八日	神	殿	清	掃	祭			
	二十七日	御	更	衣	御	戸	開	祭	
	二十八日	併	例	講	社	大	祭		
	二十九日	併	例	講	社	大	祭		
	三十日	後	宮	祭					
	三十一日	宇	迦	神	社	祈	晴	奉	賽
		祭							